

2022年3月22日（承認日）～2025年3月31日の間に  
岡山大学において献体をされた方のご遺族の方へ  
「遺体を用いたリンパ流促進装置の使用評価」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学病院  
研究機関長 金澤 右  
研究責任者 岡山大学病院 形成外科 助教 品岡 玲  
研究分担者 岡山大学病院 形成外科 教授 木股 敬裕

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

リンパ浮腫は、がんの手術後などにおこる手足のむくみです。むくむことで手足の動きが悪くなり、生活の質が低下します。むくみはリンパ液が流れにくくなることで生じますが、それに対し手で流したり、機械（空気圧式リンパ流促進装置）で流したりする治療が行われています。今回、我々は新しいリンパ流促進装置を開発しており、そのリンパ液移動効果をご遺体で調べさせていただくのが目的です。この研究を行うことで、効率のよいリンパ流促進装置が開発されることとなります。

尚、この研究に参加されましても、通常の系統解剖が行われます。参加による不利益はございません。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

我々が開発している装置のリンパ流促進効果が明らかになります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2022年倫理委員会承認日～2024年9月30日の間に岡山大学において献体された15名を研究対象とします。

### 2) 研究期間

2022年倫理委員会承認日～2025年3月31日

### 3) 研究方法

2022年倫理委員会承認日～2024年9月30日の間に、岡山大学において献体された方15名にたいし、リンパ促進装置を使用し、その効果を判定する。

### 4) 使用する試料

該当しない

### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、献体時のアンケートから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、ご遺体の個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、手術歴、既往歴

## 6) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の委託企業提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

< 委託企業 > 株式会社 テクノ高槻

## 7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学人体構成学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

## 8) 研究計画書および個人情報の開示

この研究における個人情報の開示は、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、希望される場合に御遺族にのみ行います。内容についてお分かりになりにくい点がございましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はご遺体のデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

また、あなたの情報が研究に使用されることについて、ご遺族にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

## < 問い合わせ・連絡先 >

岡山大学病院

氏名：品岡 玲

電話：086-235-7214（平日：8時30分～17時15分）